

< Covid-19感染予防策 > 海水浴場の遊泳条件と混雑状況を 可視化リアルタイム配信

凸版印刷株式会社と日本ライフセービング協会が共同実証

.....
公益財団法人日本ライフセービング協会（東京都港区 理事長/入谷 拓哉「=JLA」）は、凸版印刷株式会社と、以下の共同実証を千葉県館山市内の4か所の海水浴場で実施しました。（協力：館山市/館山サーフライフセービングクラブ）
.....

●概要

凸版印刷の混雑状況可視化サービス「nomachi」（ノマチ）を海水浴場に応用したもので、海水浴場にいるライフセーバーが「サイコロセンサー」を定期的に操作して遊泳状況と混雑状況をリアルタイムに更新・表示させるものです。更新情報は携帯電話やPCなどWEBブラウザで見ることができます。

●実証目的

1. 海水浴場の状況を可視化するツールとして、nomachiの操作性及び有効性の検証を行う。
2. 海水浴場の状況を可視化する必要性及び注目度を検証する。

●実証期間

2021年7月23日（金）～8月1日（日） 10日間

●場所

千葉県館山市4か所（北条海水浴場・沖ノ島海水浴場・波左間海水浴場・新井海水浴場）

●表示先

遊泳状況と混雑状況の各ステータスを以下に表示しました。

■表示ステータス用URL

<https://toppan-machi.com/AreaMap/314c669d1660f68e3f149ef897163428>

■表示先

①館山市ホームページ

<https://www.city.tateyama.chiba.jp/>

②館山市観光協会ホームページ

<https://tateyamacity.com/>

③館山サーフライフセービングクラブ

ホームページ <http://tateyamasc.com/>

インスタグラム https://www.instagram.com/tateyama_surf_club/?hl=ja

●表示ステータス

<p>遊泳状況</p> <p>遊泳可</p> 	<p>混雑状況</p> <p>空いている</p> 
<p>遊泳注意</p> 	<p>やや混雑</p> 
<p>遊泳禁止</p> 	<p>混雑中</p> 
<p>利用不可</p> <p>CLOSED</p>	<p>利用不可</p> <p>CLOSED</p>

●表示画面

本日の館山市海水浴場

<p>北条海水浴場</p> <p>○住所：館山市北条2307-46 地先 ○遊泳時間：9:00～16:00</p> <p>遊泳状況</p> <p>遊泳可</p> 	<p>混雑状況</p> <p>空いている</p> 
<p>沖ノ島海水浴場</p> <p>○住所：館山市富士見付近 ○遊泳時間：9:00～16:00</p> <p>遊泳状況</p> <p>遊泳可</p> 	<p>混雑状況</p> <p>空いている</p> 
<p>波左間海水浴場</p> <p>○住所：館山市波左間1-1 地先 ○遊泳時間：9:00～16:00</p> <p>遊泳状況</p> <p>遊泳可</p> 	<p>混雑状況</p> <p>空いている</p> 
<p>新井海水浴場</p> <p>○住所：館山市館山1510-19 地先 ○遊泳時間：9:00～16:00</p> <p>遊泳状況</p> <p>遊泳可</p> 	<p>混雑状況</p> <p>空いている</p> 

混雑状況可視化サービス「nomachi®」
協力 凸版印刷株式会社/公益財団法人日本ライフセービング協会/館山サーフライフセービングクラブ

●設置イメージ

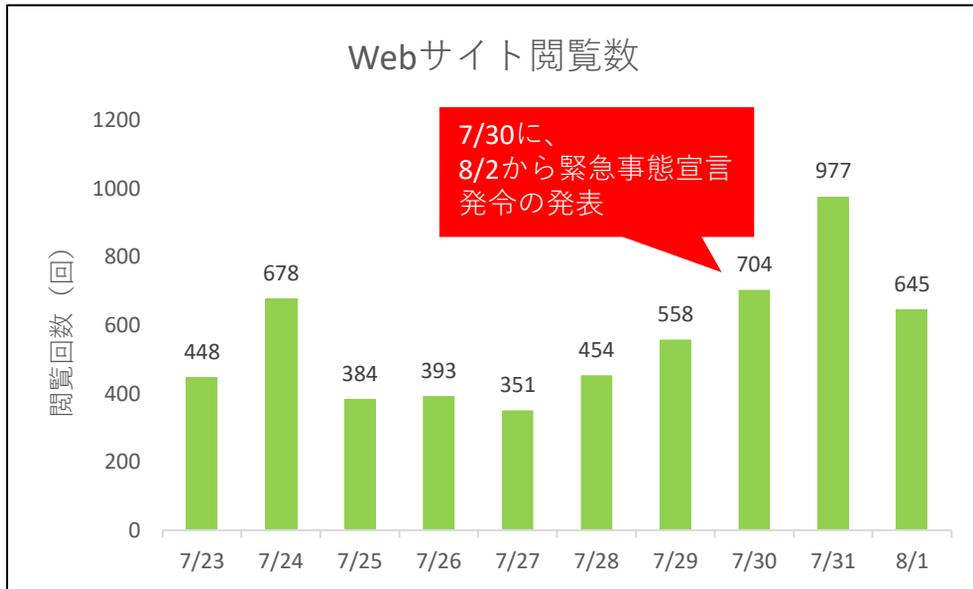


●QRコード



●実証結果（閲覧数）

- ① 7/23～8/1のWebサイト総閲覧回数は **5,592** 回。
- ② 7/30(金)に、8/2(月)から緊急事態宣言発令の旨が発表されたが、その発表翌日である7/31(土)が最も閲覧数が多い。



●ライフセーバーの声（アンケート調査より）

- サイコロセンサーの使い勝手の満足度は89%（回答例；手軽で簡単。切り替わりが早い）
- Web表示の満足度は5点満点中、平均3.8点（回答例；約10秒後に表示されリアルタイムでよい）
- 海水浴場の安全確保のため「混雑状況の可視化」は「必要/あった方がよい」が100%
- nomachiサービス全体の満足度は5点満点中、平均4点。
- nomachiを活用した「混雑可視化の継続」は「ぜひ継続」が89%。
- 海水浴場で運用する場合の課題
日差し対策が必要。充電式があるとよい。振動や衝撃で倒れにくいとよい。
表示画面に各海水浴場の写真があるとよい。

●総評

- 海水浴場開設者およびライフセーバーからは安全対策としてのシステムの活用について高い評価を得た。特に、コロナ禍において遊泳状況や混雑状況を発信できたことは効果的だった。
- 閲覧数からも一般の方々にも必要とされる公益性ある情報であることが実証できた。
- 安全で安心な海水浴場としての付加価値を高めるツールとして、今後、普及促進を検討していく。

凸版印刷株式会社 <https://www.toppan.co.jp/>
日本ライフセービング協会 <https://jla-lifesaving.or.jp/>

【取材お申込・お問い合わせ】

公益財団法人日本ライフセービング協会 事務局 川地
TEL.03-3459-1445（平日12:00-18:00） E-mail：press@jla.gr.jp

